



火打石のしだれ桜(赤坂西野字火打石)

天正10(1582)年に植えられたと伝えられ、樹齢400年を越えます。笠のように広がる枝ぶりの良さが評判で、毎年多くの人々がその姿を写そうとカメラを手に訪れます。開花期にはライトアップが行われています。



長遠寺のしだれ桜(赤坂中野字伏木田)

長遠寺の境内にあり、樹齢200年を数えます。のどかさを感じさせる桜ですが、天明の飢饉(1782~1787年)の際、餓死者の供養のため植えられたと伝えられています。



春の訪れを告げるさまざまな花たち。なかでも、桜は毎年見事な花を咲かせ、私たちの心を癒してくれます。ここでは、村内で咲き誇る桜の名所(福島県緑の文化財に指定された桜)をご紹介します。桜の名所を一度訪れてみませんか。



二段田のひがん桜(西山字二段田)

樹齢およそ350年。この場所に共同墓地がつくられた際に植えられたものと伝えられ、高さが30メートルにもなります。開花期には、空に向かうように広がった枝からピンクの花がこぼれんばかりに咲き誇ります。



官沢の地蔵様のしだれ桜(赤坂西野字官沢)

樹齢およそ200年。小枝が多く、開花期には花と花が重なり合い、ピンクのカーテンのような美しさとなります。根元には、地蔵様を祀った小さな地蔵堂があります。

